

第12回
公共サービス改革小委員会
議事録

総務省官民競争入札等監理委員会事務局

第12回 公共サービス改革小委員会議事次第

日 時：平成30年9月11日（火）17:01～17:56

場 所：永田町合同庁舎1階 第1共用会議室

1. 公共サービス改革基本方針別表の取り扱いについて
2. 平成30年度事業選定方針及びプロセスについて（案）【非公開】
3. 「特定公共サービス等に関する研究会」について（案）【非公開】

○福島事務局長 本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。一言、最初にご挨拶をさせていただきますが、本年7月21日の本委員会委員の改選後、第5期として新たな体制でまた審議をお願いするということになりました。従来、施設・研修等分科会と公物管理等分科会という2つの分科会に分かれてご議論いただいていたのですが、新体制の下でより総合的観点からご意見をいただくという観点から、これを公共サービス改革小委員会という形で統合いたしまして、開催をさせていただくということで委員の皆様からのご了解をいただいたところでございます。

本日は、7月に閣議決定をされました公共サービス改革基本方針に記載されております今年度の事業選定の方針に関し具体的な手法、プロセス等をご審議いただくということにしております。小委員会の進行は浅羽主査をお願いをしております。それでは浅羽主査、よろしくお願いたします。

○浅羽主査 皆さん、どうもこんばんは。それでは、第12回公共サービス改革小委員会を開催いたします。

本日は議題次第のとおり、「公共サービス改革基本方針別表の取り扱いについて」「平成30年度事業選定方針及びプロセスについて」「特定公共サービス等に関する研究会」の3点に関して審議を予定しております。このうち2点目と3点目につきましては、非公開とさせていただきます、後日、議事要旨を公開することといたします。

それでは、最初の議題「公共サービス改革基本方針別表の取り扱いについて」に関しまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、議題1をご説明させていただきます。資料が2つになっておりまして、右肩に資料1と書いてあるものと、そちらの参考です。こちら非公表資料となっております。A-1と振ってあるものの2つ組になります。はじめに、資料1の1枚目をごらんください。箱書きにございますのが本件「放射能測定調査」、原子力規制庁の案件になりますが、こちらの本年7月に閣議決定されました、公共サービス改革基本方針の別表の記載ぶりとなります。箱書きにございますように、類似の事業であります「海洋環境における放射能調査及び総合評価」の市場化テストですが、民間競争入札及び事業の実施状況等の検討結果を踏まえ、活用することにつき検討を行うという記載ぶりになってございます。

次に本審議についてですが、この基本方針別表に記載のある事業の取り扱いについては従来、本公共サービス改革小委員会において審議いただいているところではございますが、本件については、先ほど申しましたように箱書きの民間競争入札を実施してきている「海洋環境における放射能調査及び総合評価」の状況等を踏まえた上で検討を行うとされていることから、この「海洋環境における放射能調査及び総合評価」の事業評価を審議いただいた第509回入札管理小委員会において、併せてこの「放射能測定調査」の今後の取り扱いについてもご審議いただいたところでございます。よってこの入札管理小委員会の審議結果をご報告しまして、本公共サービス改革小委員会でご審議いただきたいと思っております。

既に、先ほど申ししております、市場化テストを導入していた「海洋環境における放射能

調査及び総合評価」につきましては、こちらの509回の入札管理小委員会の審議を経て、7月10日に開催されました219回管理委員会において市場化テスト終了、Ⅱの1の(2)の議了をいただいております。具体的な509回入札管理小委員会の審議でございますが、当日、原子力規制庁より「放射能測定調査」については既に市場化テストを実施している「海洋環境における放射能調査及び総合評価」とほぼ同様の入札手続で契約を進めているとの説明があり、提出のございました、先ほどの資料で2つ目の資料になりますけれども、こちらの参考資料等を基に以下のポイント、事業の実施状況及び評価、競争性の確保への取り組みや困難である理由等は尽くされているか、今後の実施体制は確保されているか、についてご確認の上、「放射能測定調査」についても「海洋環境における放射能調査及び総合評価」と同様、市場化テストの実施だけではさらなる競争性の改善は見込めないとのことから、公共サービス改革基本方別表より削除することが望ましいとの結論を得ております。

以上が事務局からの説明となります。

○浅羽主査 どうもありがとうございました。それでは、ただいまご説明いただきました内容についてご質問、ご意見のある委員はご発言をお願いいたします。

本件の小委員会の場には私もおりまして、また、過去には原子力を専門に扱っていらっしゃる小佐古先生の臨席も賜って、いろいろな側面から議論して、何とかもう少しできないのか等々、議論したところではあるのですけれども、いかんせん場所が米軍の基地の中で、原子力の艦船、原子力空母とかが来るということが、いつ来るかわからない。もちろん、何時間か前にいきなり何かしろ、モニタリングしろとかいうことではないのですけれども、例えば1年間のスケジュールなどが渡されるというようなものでは全くなくて、なかなか現状の業者さん以外で受け手がいないという状況が続いてきておる案件でございました。

結論からいたしますと、仕方がないといったようなことで当日の議論をした記憶がございます。積極的に外すのが望ましいというような感じではもちろんないのですけれども、いろいろな角度からこれ以上こうした場に引きとめておいてもあまり意味がないのではないかとといった結論に至ったところでございます。

それでは、特にご意見等ないようでしたら、次の議題に進めさせていただきます。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

以上